

平成 30 年 4 月 13 日

各 位

株式会社新生銀行
新生企業投資株式会社

子育て支援ファンドによる株式会社 COMPASS への投資実行について

株式会社新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 工藤 英之、以下「新生銀行」と)と子会社の新生企業投資株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 松原 一平、以下「SCI」)は、共同で設立した「日本インパクト投資 1 号投資事業有限責任組合」(以下「子育て支援ファンド」)を通じて、人工知能(Artificial Intelligence、AI)を活用したタブレット教材の開発・提供を行う株式会社 COMPASS(東京都品川区、代表取締役 神野 元基、以下「COMPASS」)が実施する第三者割当増資を平成 30 年 3 月 30 日付で引き受けました。

COMPASS は AI 型タブレット教材「Qubena(キュビナ)」を開発、学習塾や予備校、学校などへの採用・導入を進め、ユーザー数は 1 万 5 千人(平成 30 年 4 月 1 日現在)にのぼります。自社でも学習塾「Qubena Academy(キュビナアカデミー)」を運営し、Qubena を使った学習コースに加え、平成 29 年 8 月から STEM 教育コース^{※1}を提供しています。

AI を搭載した Qubena は、生徒ひとりひとりの学習中の操作ログや計算過程、回答データを分析することで、つまり原因となっているポイントを特定し、その生徒が解くべき問題へと自動的に誘導し、効果的で効率的な学習を実現します。COMPASS が実施した導入実験では、通常 14 週間をかけて行う中学 1 年生 1 学期の数学の授業を 2 週間で終え、受講した生徒全員が試験において学年全体の平均点を上回るという結果を残しており、平成 28 年版情報通信白書(総務省発行)にて「公共分野における先端的 ICT 利活用事例」として「将来が期待できるサービス」と紹介されました。COMPASS では、今後、塾ごとにカスタマイズしたコンテンツの開発によって導入拡大を図ります。このための教材開発費用などの調達のため、第三者割当増資による資金調達を実施しており、新生銀行と新生企業投資は子育て支援ファンドを通じて、その一部の引受を行いました。

子育て支援ファンドは、国内の子育て関連事業へのインパクト投資^{※2}を行うため、新生銀行と新生企業投資が平成 29 年 1 月に設立したファンドで、保育や学童、教育、家庭支援、育児と介護の両立支援などの事業や、女性活躍支援などのワークライフバランスに関する子育て関連事業を営むアーリーからレイトーステージの企業を投資対象に、1 件当たり 5 千万円程度の規模で投資を行います。これまでに、託児機能付きワーキングスペースの運営を行う株式会社 ママスクエア、保育園向け IoT ソリューションを提供するユニファ株式会社、習い事・送迎付き添い付きの民間学童保育を運営する株式会社ウイズダムアカデミーへの出資を行い、本件が 4 件目となります。新生銀行と新生企業投資では、投資対象のさらなる発掘、育成に取り組んでまいります。

^{※1}「STEM」は Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字で構成された造語で、オバマ元大統領がアメリカの教育制度に導入して以来、世界的に注目を集める。STEM 教育ではその 4 分野がそれぞれ密接に関わっているため、個々を単独で学ぶのではなく、互いに関連づけて学ぶべきだと考えられている。

^{※2} 経済的なりターンと社会的なりターンの両立を目指す投資。

【株式会社 COMPASS の概要】

名 称 : 株式会社 COMPASS
設 立 日 : 平成 24 年 12 月 25 日
代 表 者 : 代表取締役 神野 元基
本社所在地 : 東京都品川区上大崎 3 丁目 14 番 1 号
事 業 内 容 : AI 型タブレット教材の開発、展開
資 本 金 : 8 億 5,995 万円(第三者割当増資後、資本準備金含む)

以 上